

水土里ネットの和

発行：水土里ネット和歌山（和歌山県土連） 和歌山市雑賀屋町 1 番地

会長：二階俊博 TEL：073-432-2567 FAX：073-433-1490



（名手下池底樋管へのお絵描き:紀の川市立上名手小学校）

主な内容（CONTENTS）

- 副会長挨拶（真砂副会長）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 令和 8 年度第 1 回監事会及び理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 農業農村整備の集い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 令和 9 年度予算に向けた国への提案活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 近畿水土里ネット連合協議会の国への提案活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 多面的機能支払制度の活動紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 和歌山県土地改良区連絡協議会職員研修会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 2027 年国際園芸博覧会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

ご挨拶



水土里ネット和歌山

和歌山県土地改良事業団体連合会

副会長 真 砂 充 敏

平素より会員の皆様には、当連合会の活動並びに業務運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

今年は、7月に発生した令和8年熊本地震をはじめ、8月の千葉豪雨、9月の台風第25号・26号による大雨被害など、全国各地で甚大な自然災害が相次いでおります。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、近年の農業・農村を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や担い手不足に加え、生産資材や燃料費の高騰など、一層厳しさを増しております。

また、今年の夏は和歌山県内においても最高気温が40度を超える記録的な猛暑となり、7月から8月にかけての降水量が少ない状況が続いたことから、県管理のダムで貯水率が低下し、和歌山県では21年ぶりとなる渇水対策本部が設置されました。その後、9月に入り秋雨前線や台風などの影響による降雨が続いたことで、渇水状態は解消されましたが、一方で、土砂災害や農作物への影響が懸念されるところであります。

このように気候変動の影響も深刻化している中、今後も台風や豪雨に加え、渇水を含めた自然災害への対策が求められます。

国においては、食料安全保障の強化を重要課題の一つとして位置づけ、農業の構造転換を推進する方針が示されました。

農地の集積・集約化や基盤整備、スマート農業の導入、水田施策の見直しなど、今後、生産性と持続性を高めるための施策が一層加速していくものと考えられます。

こうした中、農業生産の基盤を支える土地改良区が果たす役割はますます重要になるものと考えております。

土地改良関係者の皆様におかれましては、営農を支えるため、農業水利施設の適正な維持管理をはじめ、地域農業の持続的な発展に向けた取組に、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。

令和8年度第1回監事会及び理事会

令和8年7月28日(火)、アバローム紀の国において、平野代表監事、松本監事、永長監事が出席し、第1回監事会が開催されました。

今回は

- ① 令和8年度監査計画
 - ② 理事との契約についてこの会の代表に関する事項について
 - ③ 令和7年度業務・会計・財産の決算（監査）について
- の3議事すべて承認いただきました。



また、7月29日(水)、同じくアバローム紀の国において、理事（5名欠席）12名及び監事1名の出席のもと第1回理事会が開催され議案はすべて可決されました。

来賓として出席された県農業農村整備課の箕澤参事からは、令和8年度の農業農村整備事業関係予算の状況及び食料・農業・農村基本計画に基づき農地の大区画化等加速化支援事業の説明がありました。

また、農林水産省では、気候変動に伴い激甚化・頻発化する気象災害や巨大地震等から、国民の生命・財産・暮らしを守るため、将来にわたってインフラを健全な状態で維持し続けるなど、防災・減災、国土強靱化の取組を令和8年度から令和12年の5年間で重点的に推進していく旨説明があり、和歌山県でも防災重点ため池や農村地域の総合的な防災・減災対策、農業水利施設の耐震化や機能診断を踏まえた保全対策また農道の保全対策、集落排水施設の耐震性能照査・保全対策等行っていく予定である旨説明いただきました。



事務局からは、「農業農村整備の集い」の開催(10月26日予定)について、及び「第48回全国土地改良大会(奈良大会)」(11月17日)の申込み状況等報告しました。

最後に、和歌山市長 尾花理事より退任のご挨拶をいただきました。

農業農村整備の集い

6月15日(月)、東京都の砂防会館別館シェーンバッハ・サボーにおいて、全国土地改良事業団体連合会主催の令和8年度農業農村整備の集いー農を守り、地方を創る予算の確保に向けてーが開催され、全国から1,200人を超える出席者と多数の国会議員や農林水産省からの来賓も出席し盛況に行われました。本県からも26名が参加しました。

主催者の二階会長から挨拶がありました。

また、来賓の鈴木農林水産大臣、全国水土里ネット会長会議顧問である進藤金日子議員から祝辞が述べられました。

続いて要請書が提案され、令和9年度当初予算の確保など、8項目の要請文が採択されました。

最後に全国水土里ネット女性の会による“ガンバロウ三唱”で閉会となりました。



令和9年度予算に向けた国への提案活動

6月15日(月)、「農業農村整備の集い」終了後、二階会長と面会し提案内容の説明の後、意見交換を行いました。

また、財務省宮下主計官と面談、翌日には農林水産省農村振興局松本局長、青山次長と面談し提案書を手渡しました。



今回は、以下の項目について提案しました。

- ① 農業農村整備事業推進に必要な予算確保
- ② 国営事業の推進と早期着手
- ③ ため池の改修・廃止による防災対策推進に係る予算の確保
- ④ ため池管理者が担っている防災上の管理作業に対して制度の拡充
- ⑤ 多面的機能支払交付金制度について、推進交付金及び長寿命化に係る予算の確保

今後も機会を捉えて和歌山県の土地改良に必要な施策の提案・要望を行ってまいります。

近畿水土里ネット連合協議会から国への提案活動

7月1日(水)、近畿農政局において近畿管内の土地改良事業団体連合会が合同で志知近畿農政局長に対し提案の趣旨説明及び各府県からの重点要望事項の説明を行いました。面会の後、部長、参事官、関係各課長と提案事項に関する意見交換を行いました。



また、7月22日(水)には、農林水産省、財務省、国会議員に対し農業農村の振興に関する提案活動を行いました。

提案事項は、以下のとおりです。

- ① 農業農村整備事業の着実かつ円滑な推進ならびに関係予算の確保
- ② 土地改良施設等の管理に対する支援制度の充実
- ③ 災害復旧事業への支援制度の充実と強化
- ④ 日本型直接支払制度の円滑な推進
- ⑤ 土地改良区の運営基盤の強化
- ⑥ 土地改良事業団体連合会の運営基盤の強化





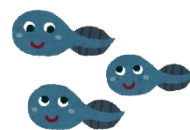
多面的機能支払制度の活動紹介

📎 9月14日(月)、多面的活動組織の神戸環境保全ネットワーク(紀の川市)が紀の川市立中貴志小学校4年生を対象にして毎年取り組んでいる共同活動の生き物調査にお邪魔しました。この取組は平成20年から長く続いており、



貴志川土地改良区も構成団体として協力しています。この日は、9月の長雨が続く中、久しぶりの晴れ間でした。児童たちが水路に入れるのは、この日だけなので、生き物を探すのに一生懸命でした。水路から上がって、捕獲した生き物の説明を受け、水質調査の実験を行い、最後に水土里ネット和歌山から水路の役割などをお話しました。

この生き物調査を通じて児童たちも田んぼや水路のことに興味を持ち自然環境を守ることへの意識が高まったのではないのでしょうか。



📎 10月2日(金)、多面的活動組織のひろがわ地域資源保全グループ(広川町)が毎年広川町立広小学校の4・5・6年生と広川なかよしこども園の園児と一緒に取り組んでいる共同活動の稲刈り作業にお邪魔しました。広、南広土地改良区も構成団体として協力しています。地区内の休耕田を活用して、もち米の田植え・稲刈りをしています。収穫したもち米では小学校の餅つき大会も予定しています。



児童たちは毎年稲刈り体験をするので、6年生は慣れた手つきで刈るのも早く、さすがだなと思いました。こうした農業体験が、子どもたちに農業への興味や食への感謝の心を育む事と思います。



和歌山県土地改良区連絡協議会 職員研修会

10月1日(木)2日(金)に土地改良区職員等を対象として大阪府内で研修会を実施し、14改良区と和歌山県農業農村整備課、県土連の職員27名が参加しました。

1日目の現地見学では、大阪府高槻市にある神安(しんあん)土地改良区の三箇牧ポンプ場に行き都市混在化が進む中でも多面的機能支払の活用などで非農家の地域住民と連携して環境保全や水辺の整備を行うなど、新しい管理システムの構築に取り組むとともに排水路は都市下水路として雨水の排水機能を果たしているため、法第56条第2項に基づく市町村協議により関係市から排水施設維持管理費等の協力を受けています。



2日目は大阪府のほぼ中央に位置する狭山市の狭山土地改良区が維持管理する狭山池に行きました。

狭山池は日本書記や古事記にも記述が見られるように日本最古のダム式のため池として誕生したと言われて、1400年の歴史が刻まれているとともに世界かんがい施設遺産にも登録されています。この歴史深いため池がダム化整備された後の土地改良区職員4名による施設管理体制など

について詳しく説明をいただきました。

参加者の皆さんも今後業務の参考になる有意義な研修会となったようです。

【表紙写真】



7月9日(木)良いお天気にも恵まれ夏本番の暑い中でしたが、現在県営工事で改修中の名手下池で、紀の川市立上名手小学校全校生徒による、ため池底樋管へのお絵描きイベントが行われました。

底樋管は、最終的には隠れてしまいましたが、工事中のこの時期だけ見ることができ、ペンキで好きな絵を描くという貴重な体験ができたようです。児童たちの弾ける笑顔が印象的でした。

2027年国際園芸博覧会について

来年3月19日から約半年間にわたって神奈川県横浜市で開催されます。
日本では1990年の大阪花の万博以来37年ぶりとなる開催となります。

地球と。 咲きに行こう。

The Blooming Field of Planetary Citizens.

前売りチケット
販売中



公式マスコットキャラクター
トウンクトウンク

©Expo 2027

前売りが断然、お得。
入場チケット販売開始
2026年3月19日(木)

前売りチケット	1日券	大人:4,900円	小人:1,400円
会期中販売チケット	1日券	大人:5,500円	小人:1,500円

開催期間：2027年3月19日(金) — 9月26日(日)

開催地：神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設）

チケット購入はこちらから

公式販売Webサイト、または旅行代理店や各種プレイガイドから購入できます。

2027 チケット Q

※価格は全て日本円・税込みです。
（紙チケットを購入する場合は、別途100円(税込み)をいただく予定です。）
※3歳以下の方は無料となります。
※前売りチケットの販売は2027年3月18日までとなります。



主催：公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会 <https://expo2027yokohama.or.jp/>

